

# すこやか

平成27年12月11日  
高岡市立牧野小学校

## 溶連菌感染症

11月以降、本校では溶連菌感染症が散発的に発生しています。溶連菌感染症の症状や予防方法等について、学校内科医の小栗先生に教えていただきました。お子さんの体調がすぐれない場合は、早めに病院で受診しましょう。

### \* 溶連菌感染症の症状は？

（参考資料：日本小児科学会「学校、幼稚園、保育所において  
予防すべき感染症の解説」）

- ・ 潜伏期間は2～5日
- ・ 咳やくしゃみのしぶき、手等を介して移ります。
- ・ 発熱、のどの痛みがあり、しばしば嘔吐を伴うこともあります。かぜと症状が似ています。
- ・ 発熱、のどの痛みとともに、舌の表面が莓状に赤く腫れ、体や手足に発疹が出ることもあります。
- ・ 子供に感染しやすい病気ですが、大人でもかかることがあります。



### \* 抗菌薬は最後までしっかり飲みましょう

- ・ 処方された抗菌薬は、症状がなくなっても最後まで服用してください。
- ・ 途中で服用を止めてしまうと、病気が再発したり急性糸球体腎炎やリウマチ熱といった合併症を引き起こしたりすることがあります。

途中で薬をやめないでね。



### \* 予防は？

- ・ 手洗い・うがいの励行、マスクの着用での予防が大切です。



### \* 登校は？

- ・ 適切な抗菌薬による治療を開始して、24時間が経過すれば感染力はほとんどなくなります。

- ・ 病院を受診した日とその翌日は家で休む。その後も発熱や症状が続く場合はしばらく学校を休みましょう。
- ・ 登校については、主治医の診断に従って登校してください。

